

# 景気観測(LOBO)

«2023.7~9月»

令和5年度 第2四半期

日 立 商 工 会 議 所  
情 報 化 委 員 会

## I. 調査概要について

### (1) 調査期間並びに調査基準

調査期間	四半期毎に実施、時期としては7, 10, 1, 4月
調査基準	四半期毎の景況感を対前年同期と比較

### (2) 調査対象並びに回収状況

業種	調査対象件数	回収件数	回収割合(%)
製造業	25	21	84%
小売業	25	21	84%
建設業	25	22	88%
サービス業	25	22	88%
計	100	86	86%

### (3) 調査内容並びに調査方法

調査項目	業界全体の動向と関心事項、売上高の推移と変化要因 採算・仕入/販売単価・従業員数・資金繰りの変化状況
調査方法	FAX・インターネット活用

### (4) 調査結果の採用

商工会議所として、景況の判断資料とすると共に一般会員にも「かいぎしよNEWS」での掲載を中心に景気動向として発表。協力事業所に対しても結果送付。

◎LOBOとは「CCI(Chamber of Commerce and Industry)-Quick Survey System of Local Business Outlook」(商工会議所早期景気観測)からとった略称。

◎DI値(景気判断指数)について

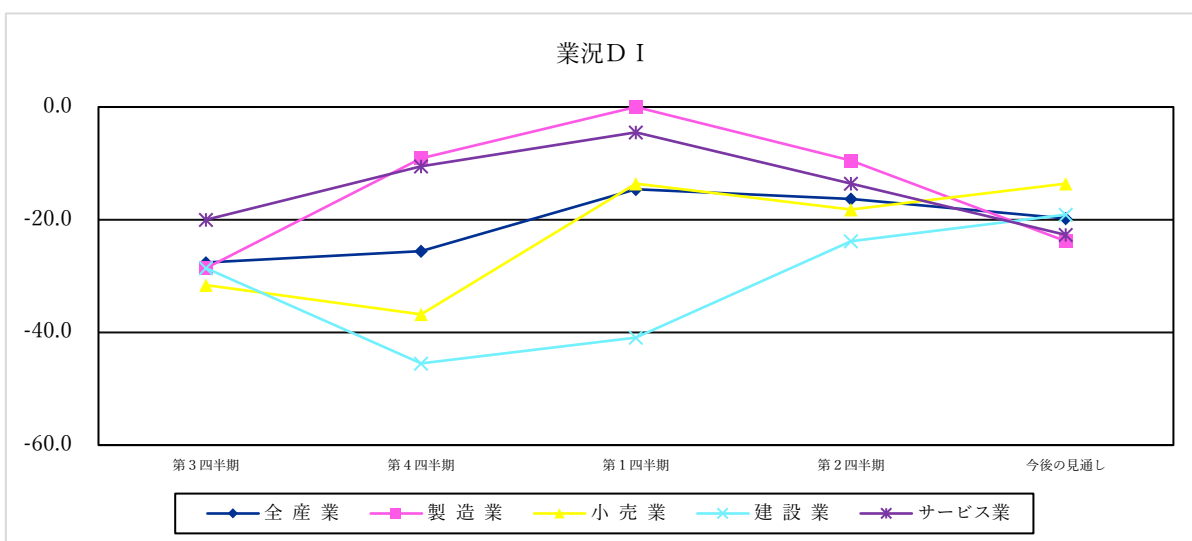
- ・DI値は調査項目についての景況判断状況を表す。(▲で下向き)
- ・強気、弱気等景況感の相対的な広がりの意味する。
- ・DI=(増加・好転・不足等の回答割合)-(減少・悪化・過剰等の回答割合)

## II. 業況判断について

- 全産業の業況は、▲16.3と前回調査時(▲14.6)より1.7ポイントの悪化。今後の見通しでは▲19.8(前回調査時▲23.6)と3.8ポイントの回復を見込む。
- 製造業では、▲9.5ポイントと前回調査時(0.0)から9.5ポイントの悪化。今後の見通しは、▲23.8(前回調査時▲17.4)で6.4ポイントの悪化を見込む。
- 小売業では、▲18.2と前回調査時(▲13.6)より4.6ポイントの悪化。今後の見通しは▲13.6(前回調査時▲31.8)と18.2ポイントの回復を見込む。
- 建設業では、▲23.8と前回調査時(▲40.9)より17.1ポイントの改善。今後の見通しは▲19.1と前回調査時(▲31.8)より12.7ポイントの回復を見込む。
- サービス業では、▲13.6と前回調査時(▲4.5)から9.1ポイントの悪化。今後の見通しは▲22.7と前回調査時(▲13.6)より9.1ポイントの悪化を見込む。

(1)業況DIの推移とキーワード

	令和4年度		令和5年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全産業	▲ 27.6	▲ 25.6	▲ 14.6	▲ 16.3	▲ 19.8
製造業	▲ 28.6	▲ 9.1	0.0	▲ 9.5	▲ 23.8
小売業	▲ 31.6	▲ 36.8	▲ 13.6	▲ 18.2	▲ 13.6
建設業	▲ 28.6	▲ 45.5	▲ 40.9	▲ 23.8	▲ 19.1
サービス業	▲ 20.0	▲ 10.5	▲ 4.5	▲ 13.6	▲ 22.7



	キーワード		
	第1位	第2位	第3位
製造業	価格転嫁・売上増加	電気料金・材料費高騰	受注量の減少
小売業	物価高による消費手控え	価格改定・売上増加	光熱費・原材料高騰
建設業	インボイス制度	2024年問題	技術者不足
サービス業	受注回復・売上増加	人員不足	コロナ前に回復

《全国との比較》

	令和5年度第2四半期		今後の見通し(10月~12月)	
	全国(9月)	日立	全国	日立
全産業	▲ 9.0	▲ 16.3	▲ 12.9	▲ 19.8
製造業	▲ 8.5	▲ 9.5	▲ 12.1	▲ 23.8
小売業	▲ 9.2	▲ 18.2	▲ 17.2	▲ 13.6
建設業	▲ 16.5	▲ 23.8	▲ 15.9	▲ 19.1
サービス業	0.2	▲ 13.6	▲ 5.7	▲ 22.7

## (2)売上高・採算・仕入単価・販売単価・従業員数・資金繰りの推移(DI値)

## (売上高)

	令和4年度		令和5年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全産業	▲ 11.8	0.0	▲ 2.3	7.0	2.3
製造業	0.0	13.6	4.4	23.8	9.5
小売業	▲ 15.8	▲ 5.3	▲ 4.6	▲ 4.5	▲ 13.5
建設業	▲ 19.1	▲ 31.8	▲ 31.8	0.0	9.5
サービス業	▲ 13.3	26.3	22.7	9.1	4.5

## (採算)

	令和4年度		令和5年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全産業	▲ 44.7	▲ 31.7	▲ 22.5	▲ 22.1	▲ 15.1
製造業	▲ 33.3	▲ 22.7	▲ 8.7	▲ 9.5	0.0
小売業	▲ 42.1	▲ 42.1	▲ 27.3	▲ 31.8	▲ 27.3
建設業	▲ 57.1	▲ 45.5	▲ 40.9	▲ 28.6	▲ 9.5
サービス業	▲ 46.7	▲ 15.8	▲ 13.6	▲ 18.2	▲ 22.7

## (仕入単価)

	令和4年度		令和5年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全産業	▲ 80.3	▲ 80.5	▲ 76.4	▲ 72.1	▲ 60.5
製造業	▲ 76.2	▲ 81.8	▲ 78.3	▲ 66.7	▲ 47.6
小売業	▲ 78.9	▲ 84.2	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 59.1
建設業	▲ 81.0	▲ 86.4	▲ 63.6	▲ 85.7	▲ 71.4
サービス業	▲ 86.7	▲ 68.4	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 63.6

## (販売単価)

	令和4年度		令和5年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全産業	32.9	26.8	39.3	38.4	22.1
製造業	42.9	31.8	43.5	33.3	14.3
小売業	47.4	31.6	59.1	54.6	45.5
建設業	28.6	22.7	31.8	42.9	23.8
サービス業	6.7	21.1	22.7	22.7	22.7

## (従業員数)

	令和4年度		令和5年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全産業	25.0	13.4	21.3	25.6	22.1
製造業	9.5	13.6	21.7	14.3	14.3
小売業	26.3	10.5	18.2	27.3	13.6
建設業	47.6	18.2	18.2	52.4	47.6
サービス業	13.3	10.5	27.3	9.1	13.6

## (資金繰り)

	令和4年度		令和5年度		
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	今後の見通し (10~12月)
全産業	▲ 25.0	▲ 23.2	▲ 15.7	▲ 9.3	▲ 7.0
製造業	▲ 9.5	▲ 9.1	▲ 8.7	4.8	4.8
小売業	▲ 42.1	▲ 36.8	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2
建設業	▲ 23.8	▲ 22.7	▲ 9.1	▲ 4.8	0.0
サービス業	▲ 26.7	▲ 26.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 13.6

## (3)業種別概況

業種	概況
製造業	<p>売上は大幅に好転しているが、業況感、採算が悪化しており先行きは不安視。原材料の上昇は落ち着いてきたように思われる。受注量の減少が見られる反面、新規取引や下期の受注増加が見込まれる報告もある。</p> <p>個別では</p> <p>「売上高は増加傾向にあるものの、仕入単価が上昇し販売単価は下落傾向にある。採算が、悪化に転じる可能性もあり、関連して資金繰りも悪化に転ずるおそれもある。」(組合)</p> <p>「2024年問題。トラック運転手不足。」(生コン製造業)</p> <p>「現在、中国生産の部品が次期モデルより国内生産となる見込み。」(電気機械器具製造業)</p> <p>「全般的に景況好転しつつあるように感じる。」(電気機械器具製造業)</p> <p>「日立製作所電力流通事業部が新体制へ移行される事で、良くも悪くも変化が生じる。今後の動向について全く見えてこない状況にある。材料費の高騰により、価格改定をしなければならぬ状況にあり、適切な価格に交渉できる良い機会ではある。」(電気機械器具製造業)</p> <p>「重電関連は現在横ばいの状況ではあるが先行きが見通せない。大型重機関連の受注は微増している。」(電気機械器具製造業)</p> <p>「材料費、電気燃料費、副資材や物流費の上昇が続いている」(輸送用機械器具製造業)</p>

	<p>「時間外勤務管理。最低賃金の引上げによる労務費上昇は避けられないが、人材確保が思うように進められず、既存従業員の時間外勤務が増え、更には割増の増額となると負担は大きい。また、身体的な負荷も増えるためメンタル面や製造業の業務においては品質確保にも悪影響を及ぼしかねない懸念がある。」(輸送用機械器具製造業)</p> <p>「情報サービス業界の人材不足は当分続きそう。」(情報サービス業)</p> <p>などの報告があった。</p>
小 売 業	<p>業況感が悪化するも、売上、採算は変わらず、年末に向けて期待したい。原材料・光熱費等の上昇は多少落ち着きをみせるも、人手不足は深刻。商品の値上げによる売上増はみられるものの、更なる原材料費の値上げが心配との報告もある。</p> <p>個別では</p> <p>「10月から販売価格を一部見直し、売上増を期待している。取引先のインボイス対応や、最低賃金の急激な上昇に対する対応などは話題になりやすい。コロナの影響はないが、以前にもどったかどうかといういろいろな意見がある。コロナ禍時の行動変容も考えられる。」(食品製造小売業)</p> <p>「人手不足、売上減少、全般的な消費財の値上げで菓子などが買い辛くなっている」(菓子製造小売業)</p> <p>「夏の暑さの影響もあり、この3カ月は人の動きが悪すぎて売上に影響が出ている。また、その暑さの影響などもありバターの生産が間に合わず制限がかかってきているため、冬の繁忙期のバター不足が心配。この先、チョコレートの値上げが控えており、早いメーカーでは12月、遅くても年明けにバター・生クリーム等乳製品の値上げが決まっているため、商品の値上げが追い付かない。最低賃金増もありそちらもどう価格転嫁していくか問題。」(菓子製造小売業)</p> <p>「政府からの補助が延長され、ガソリン価格は値下がりしたが、高止まり状態は続き買い控えも続くだろう。」(燃料小売業)</p> <p>「最低賃金アップの人件費の増加。仕入単価アップによる競争力を踏まえた売価設定。」(食品スーパー)</p> <p>「インボイスゴム印の特需。脱ハンコ・DXの影響。」(印章小売業)</p> <p>「コロナによる買い控えの継続。物価高により財布の紐は固い。技術者不足による、今後のメーカーの動きが心配」(衣服小売業)</p> <p>「車の納期までの期間が長くなっており、予約はあっても納車が間に合わないケースがある。」(カー用品小売業)などの報告があった。</p>
建 設 業	<p>業況感、売上、採算共に回復。年末、年度末に向けた先行きは明るい。インボイス制度、2024年問題への対応と、人材・技術者不足と高齢化について不安視する報告が多数あった。</p> <p>個別では、</p> <p>「建設無慈悲の値上がり、熟練技能者の不足、技術者不足による受注逸注。」(総合建設業)</p> <p>「インボイス制度が始まったが、未だ手探りの状態が続いている企業がたくさんあるように感じる。」(総合建設業)</p> <p>「民間も公共工事も災害復旧工事が増加している。」(土木工事業)</p>

	<p>「人口減少、物価値上り。」(一般住宅建築業)</p> <p>「県内でも大型案件の受注が増えてきている。インボイス制度が始まり、登録しない企業・一人親方との取引が困難になった。今後は少人数で経営している企業は受注が困難になり、益々厳しくなるのではと感じる」(設備工事業)</p> <p>「2024年問題。時間外労働上限規制。」(設備工事業)</p> <p>「インボイス制度が発注先と協力会社の間でスムーズに進行していくか気がかりである。それ以上に今後実施される電子帳簿保存法の対応に不明な点も多く、全て対応していくのに懸念がある。」(設備工事業)</p> <p>「法律改正による費用の増加。これからの時代に対応出来る会社運営方法。カーボンニュートラル時代に対応出来る新しい材料・工法等の構築。技術者・技能者の育成(激減中)」(建築材料卸売業)</p> <p>「現場数が増えている。9月より見積件数が増え、徐々に契約に至っている。」(電気工事業)</p> <p>などの報告があった。</p>
サービス業	<p>業況感、売上、採算ともに悪化しており先行きは不安。今後の見通しも更に悪化しており不安視する声が多い。既に価格改定し売上が増加している業界と、依然として転嫁出来ず厳しい状況が続いている業界が見られる。</p> <p>個別では、</p> <p>「大口工事受注の見込み。トラック運賃値上げを認めてもらえない。」(物流業)</p> <p>「世界情勢不安による資源(特に軽油)価格の高止まりを懸念。為替の円安続伸、物価の上昇等に伴う経営環境悪化への対策として『運賃値上』を検討。【利便性の高い公共交通利用環境】の実現に向けての取組。「ICカードシステム」を全社導入し、新決済システムによる利用しやすい環境造成。運転士不足による稼働確保に向けた採用活動の展開、人員運用の効率化の策定。」(一般乗用旅客自動車運送業)</p> <p>「値上げによる売上の増加がある反面、お客様の収入減少を感じる。インボイス制度の影響がどうなるか分からない。」(飲食業)</p> <p>「コロナ明けの売上増加。福島原発のアルプス処理水放出による風評被害の不安。」(ホテル業)</p> <p>「茨城デスティネーションキャンペーンが始まり、併せて茨城県の体験王国いばらき割が始まったので、地域全体としての盛上りに期待したい。」(ホテル業)</p> <p>「伊藤園のAIを活用したCM。」(映像制作業)</p> <p>「インボイス制度開始に伴う事務負担の増加。」(税理士業)</p> <p>などの報告があった。</p>